

## 議題（1）

### 商慣習の改善方策について （ガイドライン改訂案について）

## 1. 商慣習の改善方策等の検討にあたって主にご議論いただきたい事項

### (1) 取引環境の改善について

- ① 荷主とオペレーター間の運賃や、オペレーターとオーナー間の用船料の交渉にあたり、これらを構成する役務や費目の一般的な考え方が整理されておらず、運賃や用船料の交渉に時間を要するケースが存在するため、これらを構成する役務や費目を整理し、運賃や用船料の円滑な交渉に役立てることが効果的であると考えられるがどうか。
- ② 社会経済情勢の変化に伴う価格高騰分について、適正な運賃收受を行うために、燃料費については「内航海運事業における燃料サーチャージ等ガイドライン」も参考に、燃料サーチャージの設定が有効であると考えられるが、価格高騰分の円滑な転嫁に向けて今後どのような取組が必要であると考えるか。
- ③ 海運集会所が定めている契約書式を活用して契約されているケースとそうではないケースが存在しているが、契約内容の明確化や契約実務の効率化・標準化を図る上で、今後どのような取組が効果的であると考えられるか。

### (2) 労働環境の改善について

- ① 人口減少・少子高齢化が進展する中でも内航海運による安定輸送を確保するためには、これまで慣習的に行われてきた作業の廃止や、作業の効率化を進めることが有効であり、一部の荷主と内航海運業者では両者の連携の下、レデューサーの事前装着、陸側でのホース手配とローディングアームの接続作業、自動荷役システムの導入、船舶燃料のA重油への専焼化、船食デリバリーサービスの利用、ケミカルタンカーの封印廃止、積み荷の時間変更に関する事前通知等が行われている。これらの優良事例を「内航海運業者と荷主との連携強化のためのガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に盛り込み横展開を図るとともに、各個別部会においても業界としてどのような取組を行うことが可能か検討してはどうか。
- ② また、ダンページの処理、タンク内清掃等、船員の労働環境の改善に資する課題が挙げられており、各個別部会においても業界としてどのような取組を行うことが可能か検討してはどうか。

### (3) 運航の効率化について

- ① 内航海運による効率輸送を実現するためには、空荷運航の改善や運航管理の効率化を進めることが有効であり、一部の内航海運業者は荷主への営業活動や、運航管理システムの導入等が行われている。これらの優良事例をガイドラインに盛り込み横展開を図るとともに、各個別部会においても業界としてどのような取組を行うことが可能か検討してはどうか。

### (4) 事務処理の効率化について

- ① デジタルを活用した事務処理の効率化が進められている場合があるが、書類の簡素化含め、事務処理を効率化する方策について、各個別部会においても業界としてどのような取組を行うことが可能か検討してはどうか。

## 2. 今後の進め方

- (1) 上記1. (1)～(4)について、安定・効率輸送協議会での議論等も踏まえ、ガイドラインへ反映可能な内容は本年度中に反映
- (2) 業界全体の取組として検討が必要な事項は本年度中に各個別部会（2回程度開催）で議論・検討

別添参照

## 調査目的

- 内航海運業における生産性向上、取引環境改善、船員の働き方改革を推進するため、商慣習の実態調査を実施するとともに、その改善方策を検討する。
- 関係者間で検討した商慣習の改善方策及び商慣習の改善事例を「内航海運業者と荷主との連携強化のためのガイドライン」に反映し、荷主及び内航海運業者に周知することで、内航海運業の取引環境改善・生産性向上を図る。

## 調査概要

### ■ 調査対象

内航海運事業者(オペレーター、オーナー、船舶管理業者)

### ■ 調査方法

Web・紙面によるアンケート調査

### ■ 実施期間

2024年8月13日～9月5日

### ■ 配布件数

1,853社に郵送にて調査票を配布

### ■ 回答結果

Web・紙面を併せて最終的に454社から回答を得た  
(Web:307 郵送:147)

事業形態	回答数	構成比
元請けオペレーター	143	24%
二次請けオペレーター	74	12%
三次請けオペレーター	20	3%
オーナー	291	49%
船舶管理業	71	12%
合計※	599	100%

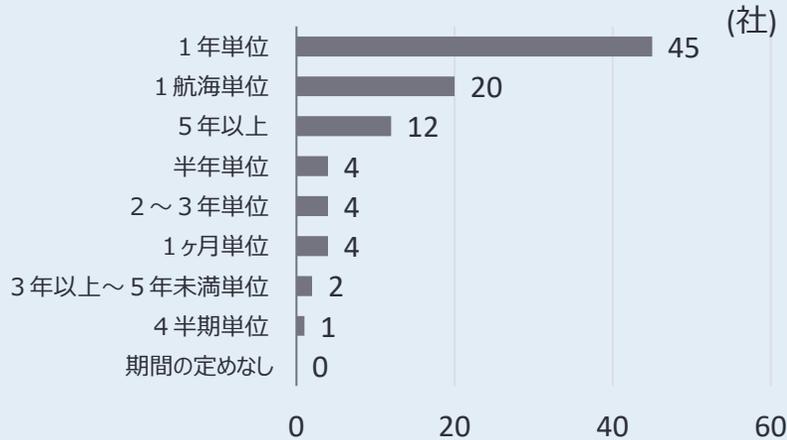
※複数の事業形態を選択可能なため、合計が回答企業数454社を上回る



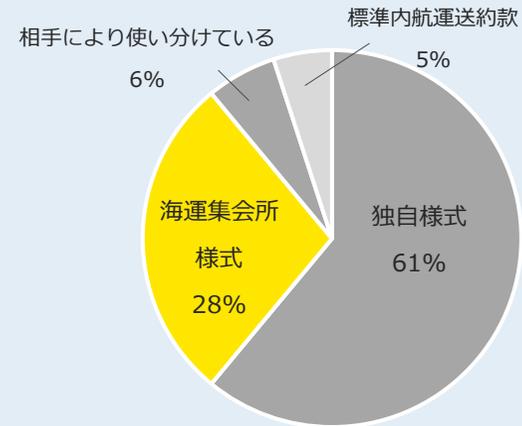
アンケート結果について、  
「契約書の内容」、「提供作業と料金徴収」、「運航管理」、「事務手続き」の4領域で分析。

## A. 契約書の内容

### 受注契約の契約期間(オペレーターと荷主間)

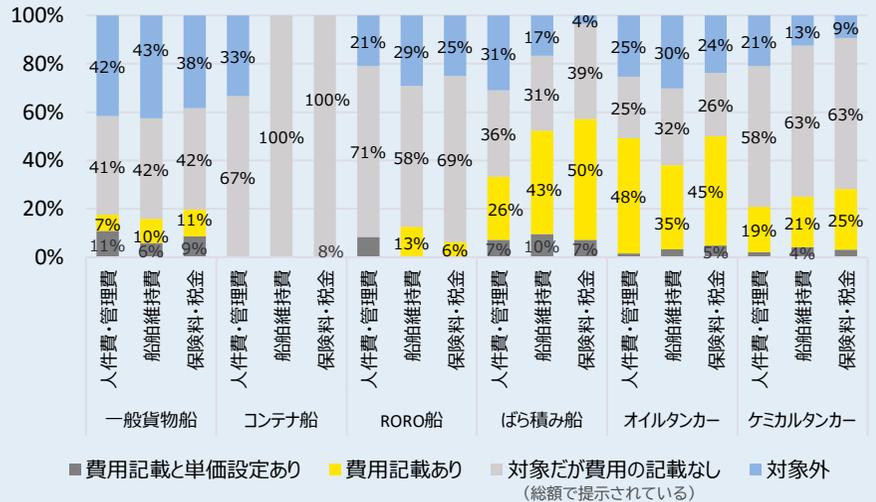


### 受注契約書の書式(オペレーターと荷主間)

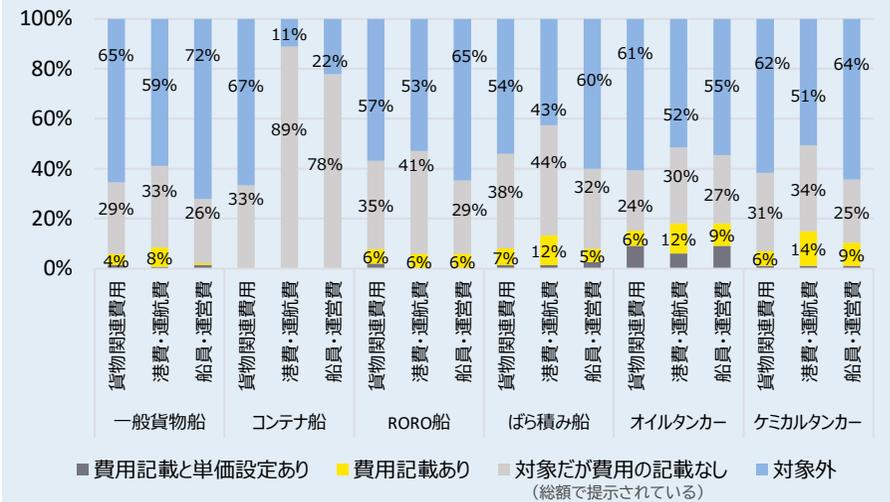


## B. 提供作業と料金徴収 ①

### オーナーの費用負担と単価の設定(オーナーとオペレーター間)

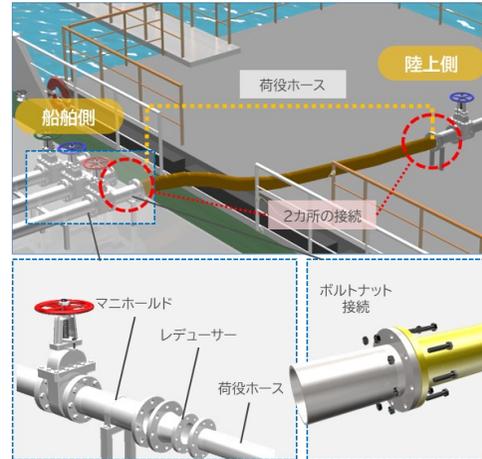
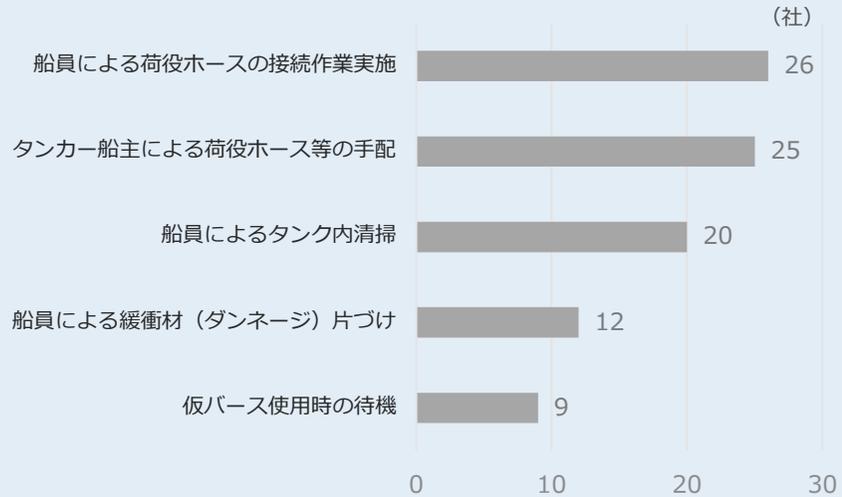


### オパの費用負担と単価の設定(オペレーターと荷主間)



## B.提供作業と料金徴収 ②

### 作業の実施状況



タンカー荷役におけるホース等設備



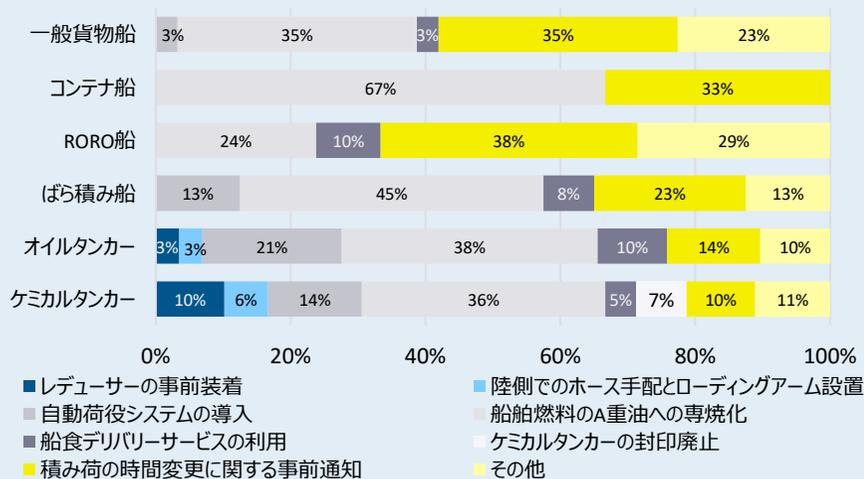
鋼材の荷積み時の様子

鋼材を陸揚げした後、緩衝材としてのダンネージが取り残されてしまう

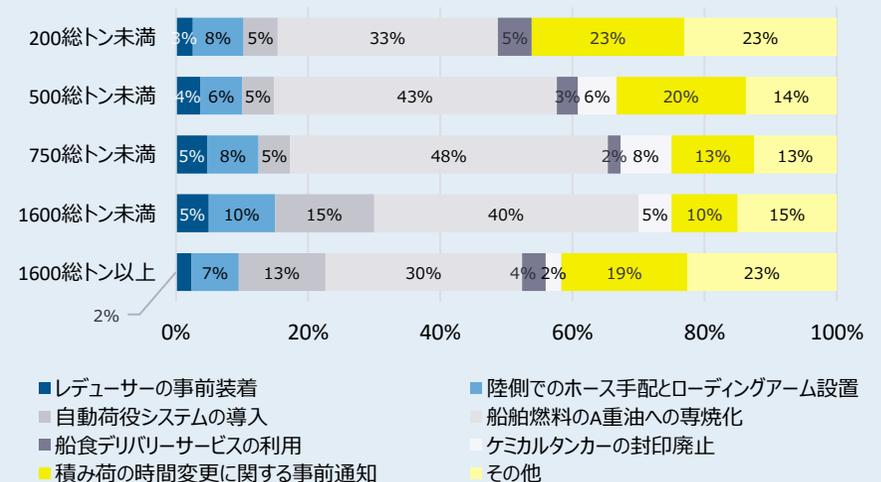
NSユナイテッド内航海運株式会社HPより引用  
<https://www.nsu-naiko.co.jp/business/steel/>

## B.提供作業と料金徴収 ③

### オペレーター: 船種別改善事例

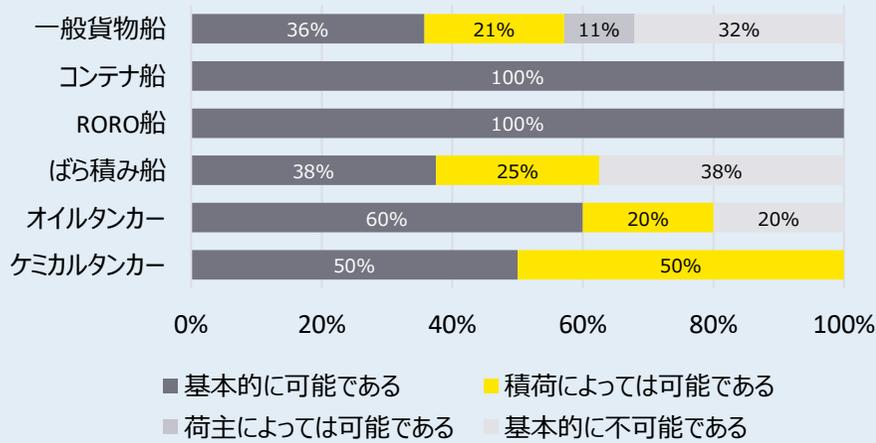


### オーナー: 船型別改善事例

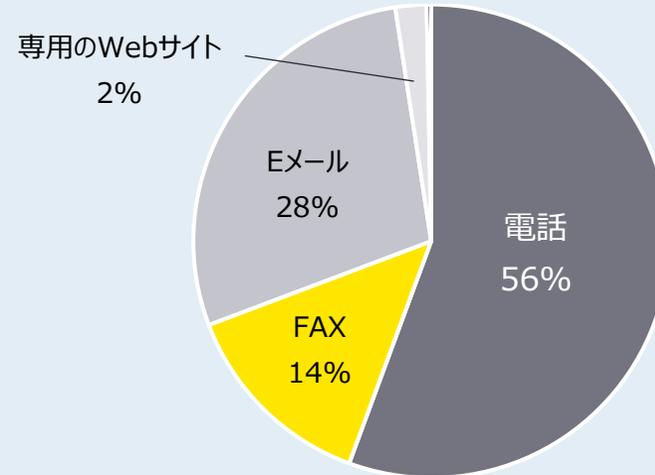


## C. 運航管理

オペレーター：往路と復路で異なる荷主による荷物輸送可否

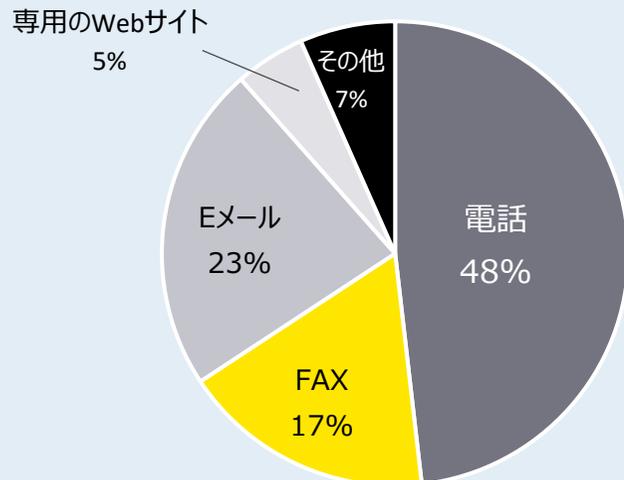


オペレーター：荷主からの輸送計画の受領方法



## C. 運航管理

オーナー：空き状況の共有方法



## D. 事務手続き

オペレーター：事務手続きの電子化状況

